

事業所名 通所支援事業所ステラ

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日 R7 年 3 月 14 日

法人（事業所）理念	障害児に対する支援はもちろんのこと、将来に対する保護者の不安を解消することを目指します。この先大人になっていく子供達の日常生活がより良いものとなるよう将来を見据えて、活動の中で体験や体感をたくさん経験し自立への支援を行なっております。					
支援方針	一人ひとりの発達に合わせた個別支援計画書を作成し、個別支援、必要に応じて集団支援を行う。保護者の要望や相談を聞き入れ、本人の意思を尊重し支援していく。地域のイベント（中野島商店街）に積極的に参加し、社会資源の活用をしていく。					
営業時間	10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	日常生活における自立を図ることを目指す。 ・日常生活：トイレトレーニング、着替え、手洗い、食事の基本的な動作を習得するためのサポートを行う。 ・運動、室内活動をバランスよく取り入れ、身心の健康を促す。 ・外部の講師による「お菓教室」を実施し、健康の意識を向上させる。				
	運動・感覚	体力向上と体の使い方を学べるようなプログラムを実施。 ・散歩、外遊び：公園や近隣地域へ外出を通じて、自然環境に触れることで身体活動を促進し季節の変化を体感する機会を提供する。 ・バランス感覚：バランスボールや平均台、段差昇降を行い、体幹の強化やバランス感覚の発達を支援する。 ・製作：くればつや色鉛筆、はさみ、のり等の文房具を使い、手先の感覚を養う。				
	認知・行動	様々な活動に取り組み、日常生活に応用できるような動きをたくさん経験し、適応力を伸ばす。 ・集中力向上：絵本の読み聞かせやクイズ、模倣を取り入れ、集中力と記憶力を高めます。 ・行動ルールの学習：シミュレーションゲームやロールプレイを通じて社会的なマナーやルールを学び、日常生活の適応力に繋がります。				
	言語コミュニケーション	言語の理解力と表現力を向上させ、他者とのコミュニケーションをスムーズに行えるようにする。 ・カード遊び：五十音表を使った単語ゲームやカルタを実施し、語彙を増やす。 ・質疑応答等スタッフや他児童とのコミュニケーションの中で、言葉遣いや接し方を学ぶ。				
	人間関係社会性	一日の決まった流れ、ルールを設け伝える。またスタッフや他児童との蜜な関わりを通して、 ・他者との違いを受け入れ、尊重する気持ちを育む。 ・集団生活のルール・マナーを学び実践することができる。 ・地域のイベントや外出活動に参加し、地域レベルのルール、公共交通機関の利用方法やマナーを学ぶ機会をたくさん作る。				
家族支援	定期的な面談、電話連絡、SNSを通じてお子様の日々の様子を情報共有し、家庭での支援方法についてアドバイスを行う。 ・必要に応じて相談支援事業所を紹介し、連携して支援を実施する。			移行支援	保護者への情報提供や進学先での環境調整を行う。進学先との支援内容の共有、支援方法の伝達を行う。 ・複数の事業所を併用している場合、事業所間で情報共有を行う。	
地域支援・地域連携	地域イベントや自立支援協議会、連絡会に参加し、地域社会との交流を深める。 ・外部講師を呼び、利用児童向け勉強会の実施。（3か月に1回）			職員の質の向上	スキルアップのための定期的な研修。 ・研修費用全額会社負担。 ・毎朝のミーティングにて意見交換。毎月の全体会議実施。	
主な行事等	・外出イベント、地域イベントの開催・交流、ハロウィンパーティー、クリスマス会、防災訓練。その中で地域交流、調理体験、公共交通機関体験、買い物体験等行っている。					